

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式									
E112J018		工芸 (Potter's Craft I)															
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員											
必修	1	3	教育学部 平成31年度以前入学生用			氏名 村上 佑介 E-mail y-murakami@oita-u.ac.jp 内線 7594											
授業の概要	工芸における基礎的な表現方法の習得を目指し、制作を通して工芸の意義や魅力を理解する。あわせて工芸教育指導のための基礎的技能を養う。																
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1 陶土を用いて実用的な作品を作ることができる。																	
目標2 陶芸や染色の道具を適切かつ安全に使用することができる。																	
目標3 工芸指導の基本的な知識と技術を習得し、それを基に作品について説明することができる。																	
目標4																	
目標5																	
目標6																	
目標7																	
目標8																	
目標9																	
目標10																	
授業の内容																	
1 「ガイダンスおよび工芸について」：工芸の種類、様々な素材と技法																	
2 「陶芸」：制作工程と土づくり																	
3 「陶芸」：手びねり成形による茶碗づくり																	
4 「陶芸」：手びねり成形による茶碗づくり																	
5 「陶芸」：陶芸作家について(視聴覚教材)																	
6 「陶芸」：素焼きに関するレクチャーと実践																	
7 「陶芸」：絵付け																	
8 「陶芸」：施釉																	
9 「陶芸」：本焼きに関するレクチャーと実践																	
10 「陶芸」：作品の講評																	
11 「染め」：素材・技法の説明および図案の検討																	
12 「染め」：口ウ描き																	
13 「染め」：細部の口ウ描き																	
14 「染め」：捺染																	
15 「染め および総括」：仕上げと作品の講評、																	
ラーニング	A:知識の定着・確認	制作中に各個人作品の指導の中で、確認、意見交換を行う。					工夫 その 他の	なし。									
	B:意見の表現・交換	総括・講評会・レポートにより行う。															
	C:応用志向																
	D:知識の活用・創造																
時間外学習の内容と時間の目安	準備	指示するテーマについて、図書館もしくはインターネットによって予備知識の取得に努める (5h)。															
	事後	授業で学習した素材や、技法について復習し、自身の作品制作に活用する (10h)。															
教科書	教科書は使用しない。 適宜資料を配布する。																
参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・東京国立近代美術館工芸課『工芸の見かた・感じかた』, 2010 ・文部科学省『中学校学習指導要領解説 美術編』(平成29年告示) ・文部科学省『高等学校学習指導要領解説 芸術(音楽 美術 工芸 書道)編 音楽編 美術編』(平成30年7月) 																
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10					
	完成作品の提出	70%															
	課題レポート及び講評会での発表	30%															
注意事項	実習では、汚れても良い服装・靴を用意すること。 作陶道具はこちらで用意するが、消耗品代(陶土代など)が必要。詳しくはオリエンテーションの際に提示する。																
備考	なし。																
リンク	URL																

担当教員の 実務経験の 有無	
教員の実務 経験	特別支援学校教諭（美術）、高等学校教諭（美術）
教員以外の 指導に関わ る実務経験 者	なし
実務経験を いかした教 育内容	中学校および高等学校の立体造形指導に必要な知識と技能を習得する。